

2. 指標設定

成果指標	指標名		循環型社会の形成		目標年度	—	指標の設定理由				
	数値		—				里山・田園・水辺を守り育て、ごみを削減するため				
活動指標	指標	a	看板設置数		b	補助実施数		c		d	
	数値	目標	随時		目標	105件		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
循環型社会の形成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 2	H 2 3	H 2 4
a 看板設置数	件	27 件 — %	22 件 — %	38 件 — %
b 補助実施数	件	84 件 70.0 %	95 件 79.2 %	94 件 89.5 %
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
ごみの不法投棄が多く発生している。また、ごみの減量化等を図る必要がある。
対応（改善点等）
不法投棄に対しては広報、啓発活動を行い、家庭ごみの減量化を図る

5. 事業費・・・H 2 2～H 2 4（決算額）、H 2 5（予算現額）

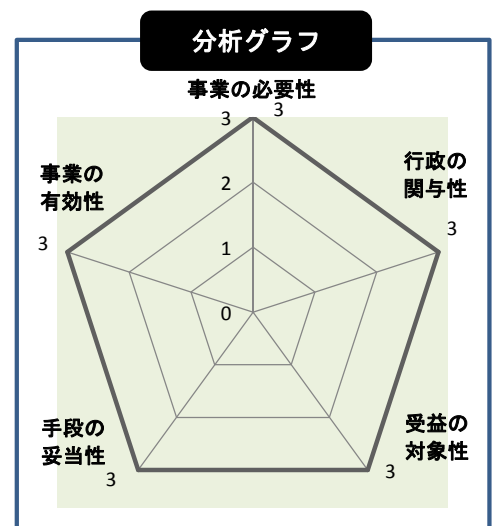
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
うち経常経費		353,235	2,977	2,323	1,716
		2,966	1,879	2,066	1,457
財源内訳	国 費	85,966			
	県 費	47	129	128	129
	市 債				
	そ の 他	185	225	225	225
	一般財源	267,037	2,623	1,970	1,362
	うち経常	2,734	1,654	1,841	1,232
事業費に係る人件費		5,256	5,160	5,153	5,231
事業費に係る人役		1.20	1.20	1.20	1.20

6. H 2 6 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を推進するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、環境保全に資するための啓発活動を含め、効果的、効率的な事業実施に努めること。